

第5回日カンボジア二国間フードバリューチェーン対話

1 概要

開催日、場所: 2019年12月18日、プノンペン

概要: カンボジアにおけるフードバリューチェーン(FVC)構築のため、政策対話及び官民フォーラムを開催。

- (1) 政策対話では、前回対話においてカンボジア側から提案のあった特定製品のフードバリューチェーン構築のための幹事会の運営方法や、パイロット事業(対象製品はカシューナッツ)について関係者の取組の進捗を毎年レビューし共有していくことに合意。
- (2) 官民フォーラムでは、カシューナッツも含め、カンボジアの農業・食産業分野に関心を有する企業等から約40名が参加し開催。日系企業等からは以下を発表。
 - ・認定NPO法人 IVY: 農協を通じた有機カシューナッツの契約栽培による小規模農家支援
 - ・株式会社トッププランニングジャパン: SDGsビジネスモデル工場 ～カンボジアにおける農業バリューチェーン構築とカシューナッツの高付加価値化～
 - ・JC Agricultural Cooperatives Co. Ltd: スマート農業技術/農業者へのIoTサービスの実践
 - ・東都興業株式会社: 日本のハウス栽培施設による安全・安心な野菜供給・生産性向上
 - ・株式会社クラタペッパー: 日カンボジア間の胡椒ビジネスにおけるバリューチェーン構築にあたっての障害
 - ・国土交通省: アセアンにおけるスマートコールドチェーン構想カンボジア企業からは、カシューナッツの生産・加工についてシェイ・サンバー社とサンタナ社、胡椒についてカンボジア胡椒スパイス連盟社、マンゴーについてキリウム食品社よりそれぞれ発表が行われた。
日系企業から、農業資材の輸入に関して、二重課税などの質問・要望があり、カンボジア側関係省庁から関税分類の問題と考えられるとして、相談窓口を紹介する等の質疑応答を実施。
- (3) 現地視察として、Hayashida Japan Agriculture Co. Ltd監修の農場、JICA技術協力プロジェクトのモデル農協を訪問。

2 出席者

日本側: 三上在カンボジア日本国大使(官民フォーラム前半のみ)、木下農林水産省海外投資・協力グループ国際交渉官、国土交通省、JICA、JETRO、約30名の民間企業・団体等

カンボジア側: ヴェーン・サコン農林水産大臣(官民フォーラム冒頭挨拶のみ)、プラム・ソマニー農林水産省国際協力局長、商業省、カンボジア開発評議会、約10名の民間企業・団体等

